

防水ジャーナル

ROOFING / SIDING / INSULATION / RENEWAL

2022

3

No.604

特集2 特集1

「建築工事標準仕様書・同解説 JASS8 防水工事」改定の概要
ここまで進化した手塗りウレタンゴム系塗膜防水



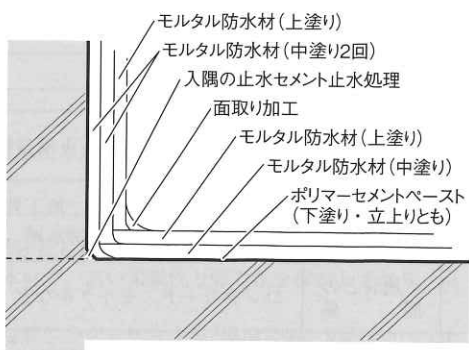
THE ROUSUI JOURNAL

「防水モルタル」と「モルタル防水」

(有)鈴木哲夫設計事務所 代表取締役 鈴木 哲夫

防水剤入りのセメントモルタル材料は、無機系であるがゆえに、ひび割れが入ると防水効果を発揮できない難点がある。メンブレン防水に比べて信頼性は劣るが、扱いやすさから各種販売されており、防水モルタル材料として広く使用されている。

筆者が新卒入社した頃の1970年代はじめのことであるが、設計図にベランダなどの防水として「モルタル防水」と仕様設定されていたことを記憶している。現在はまず見かけることはなくなったが、一方で「防水モルタル仕上げ」という表記もあって、「この違いは何だか分かるか」と先輩に問われたことがあった。

つい最近のことであるが、若い技術者の中で「防水モルタル」と「モルタル防水」の意味の違いがあることがよく理解されていないことが分かった。「防水モルタル」は、セメントモルタルに添加剤や混和剤を加えて防水機能を発揮させる材料のことであるが、防水とモルタルをひっくり返して「モルタル防水」とした場合は、材料のことではなく防水工法の一つを意味し、つまりは無機系防水工法を指す。したがって、材料や仕上げ方を示すときは「防水モルタル」、に示すような工法を指し示すときは「モルタル防水」だということだ(表)。

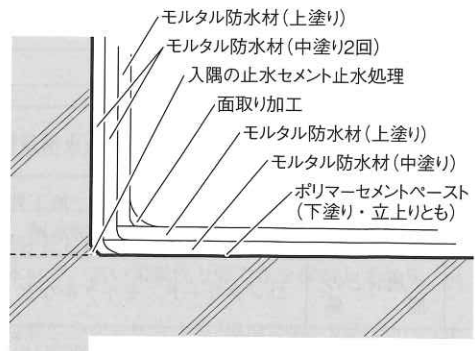


図 モルタル防水の施工例

表 防水モルタルとモルタル防水の差異

建設工事の種類	現在の建設工事の例示	品質の差異	呼称の区別
左官工事	モルタル防水工事	防水モルタル材料を用いて仕上げる工事	防水モルタル
防水工事		防水モルタル材料を用いて仕上げ、性能を保証する責任施工工事	モルタル防水

注)「モルタル防水工事」は、建設業法許可事務ガイドラインに例示された工種の名称である

防水モルタルは防水保証のない左官工の施工を指し、モルタル防水は防水工が施工する防水保証のある責任施工工事という、はっきりとした用語の使い分けがあり、見積り価格も異なると駆け出しの頃、先輩から教えられた。つまり、防水モルタル塗りは、混和剤などを添加して防水性を高めた材料を塗るというだけのことで、防水工事ではないのだ。

1985年までの建設業法に示す業種区分は、「防水モルタル工事」としていたが、1985年の告示1368号により、業種例示が「防水モルタル工事」から「モルタル防水工事」に改正された。この改正をきっかけに防水モルタルという用語が使われなくなったことで、意味の違いを意識する機会がなくなったようである。廃れた用語であっても、意味の違いがあることは頭の隅に置いておきたい。

余談になるが、「カレーライス」と「ライスカレー」も、実は違いがあるようだ。カレーは明治時代に初めて伝わった料理で、当時はライスカレーが主流であった。1968年にレトルトカレー(ボンカレー)の発売が契機になってカレーライスが優勢に転じ、以降定着した。ただ、諸説あり、そもそも料理の名称は味を表現するものを前に付け、主食を後ろに付けるというルールがある。戦時中、海軍はカレーライス、陸軍はライスカレーと呼んでいたとも聞く。